

センターからのお知らせ

ヘリウムの利用法と供給報告

1. 液体ヘリウムの申込方法と受取方法

各地区の部局別の申込方法、受取方法を下記表に示します。所属する部局の場所と実際に実験を行う場所が異なる場合、実験を行う場所の申込方法、受取方法に従って下さい。

<青葉山地区>

※予約はなるべく使用予定日の1週間前までをお願いします。小型のクライオスタットを持参して極低温科学センター棟別館(旧理学部低温サブセンター)か工学研究科低温センターで液体ヘリウムを汲み出す場合にはそれぞれの場所へ申し込んで下さい。詳細は極低温科学センターのホームページ <http://www.clts.tohoku.ac.jp/aobayama/>の「受け取りと使用料金」を参照下さい。

部局名	申込方法	受取方法
理学研究科	Web サイトよりログイン http://www.clts.tohoku.ac.jp/aobayama/	各研究棟の決められた場所に極低温科学センターが配達します。又は極低温科学センター棟別館で受け取って下さい。
工学研究科		各研究棟の決められた場所に極低温科学センターが配達します。又は工学研究科低温センターで受け取って下さい。
薬学研究科		各研究棟の決められた場所に極低温科学センターが配達します。
その他の部局		各部局の決められた場所に極低温科学センターが配達します。

<片平地区、星陵地区>

※予約は使用予定日の2日前の16:00までをお願いします。詳細は極低温科学センターのホームページ http://www.clts.tohoku.ac.jp/katahira_seiryu/の「受け取りと使用料金」を参照下さい。

部局名	申込方法	受取方法
金属材料研究所*	Web サイトよりログイン http://www.clts.tohoku.ac.jp/katahira_seiryu/	低温科学部オペレーター室に液体ヘリウム容器を受け取りに来た旨を伝えて受け取ってください。
電気通信研究所		各研究棟の決められた場所に極低温科学センターが配達します。
多元物質科学研究所		各研究棟の決められた場所に極低温科学センターが配達します。
原子分子材料科学 高等研究機構 [AIMR ラボ棟]		低温科学部オペレーター室に液体ヘリウム容器を受け取りに来た旨を伝えて受け取ってください。
原子分子材料科学 高等研究機構 [上記以外]		各研究棟の決められた場所に極低温科学センターが配達します。
その他の部局		各部局の決められた場所に極低温科学センターが配達します。

(* 金研強磁場超伝導材料研究センターで液体ヘリウムを利用する際は、金研受入教員の指示に従って下さい)

2. 供給報告

平成27年度に極低温科学センターが供給した全学の液体ヘリウムの使用量は約22万8千リットルで、青葉山の液化機の復旧以降は緩やかな増加が続いています（図1、表1参照）。

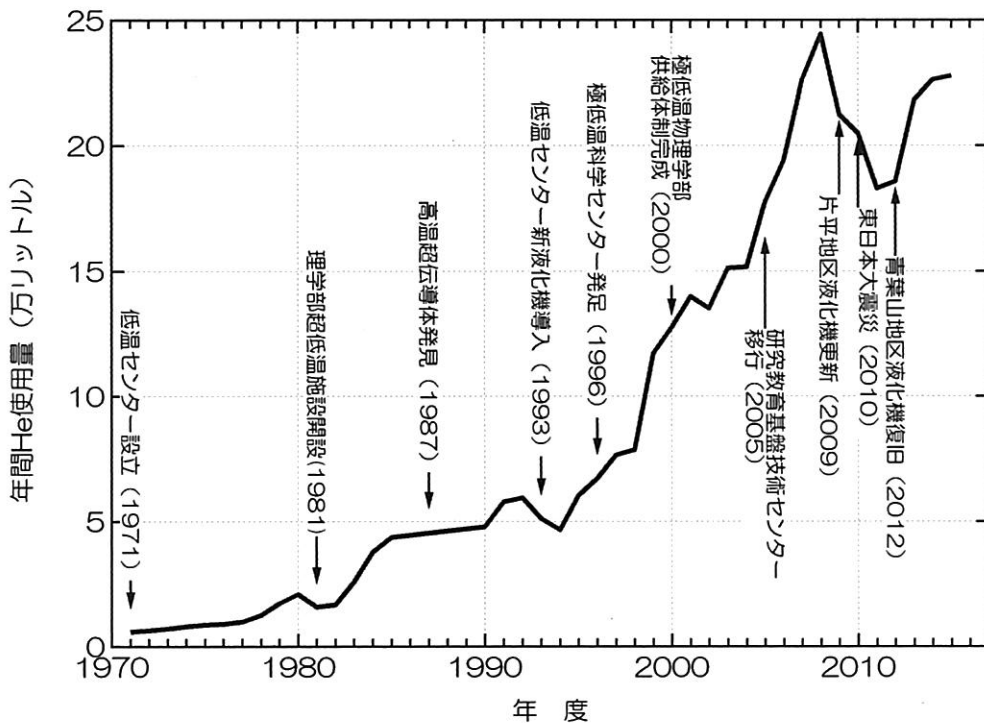


図1. 液体ヘリウムの年間使用量の推移

表1. 最近5年間の液体ヘリウム使用状況

(単位 リットル)

部局名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
理学研究科	63,210	52,620	59,495	61,969	49,650
薬学研究科	520	572	812	748	849
工学研究科	19,606	24,180	34,308	25,052	26,816
金属材料研究所	52,107	55,584	60,320	71,719	83,607
電気通信研究所	12,593	8,971	9,801	9,801	4,138
多元物質科学研究所	15,422	18,869	17,406	16,592	20,901
極低温科学センター	10,710	15,886	17,586	15,940	17,261
学際科学フロンティア研究所	128	91	95	121	122
流体科学研究所	0	0	0	0	0
原子分子材料科学高等研究機構	8,665	9,028	18,544	19,209	21,732
東北メディカル・メガバンク機構	-	-	-	2,764	2,738
合計	182,961	185,801	218,367	223,915	227,814

3. 使用料金について

・使用料金は、ブロック（建物または研究科）ごとの回収率により決定されたヘリウム単価に使用量（使用前と使用後における液体ヘリウム容器内の液量の差）を乗じて算出します。

- ・無回収を前提として供給を受ける場合の液体ヘリウム利用料金は2,430円/リットルといたします。また、センターにおける保有量によっては、無回収前提の供給をお断りすることもあります。
- ・回収率が100%を超えた場合はこれを100%とみなして計算します。

4. ヘリウム回収状況

学内平均の回収率は平成27年1月～12月で平均91%（片平地区：91%、青葉山地区：92%）でした。また部会で承認された平成27年度における回収率に応じたヘリウム料金の計算式は

$$1 \text{ リットル当りのヘリウム利用価格(円)} = 108 + 1974 \times \{100 - \text{回収率}(\%)\} / 100$$

となり、この方式により計算すると平成27年度の平均価格は286円/リットルとなりました（26年：266円、25年：216円、24年：223円、23年：210円、22年：263円、21年：280円）。

- ・料金、回収率、支払い方法についての質問は内線6478（青葉山地区）、内線2167（片平、星陵地区）までご連絡下さい。